

中央図書館リニューアル後の多文化共生に関する取組について

1 現在の取組

(1) 多文化共生コーナー（中央図書館1階）

- ・日本語や日本文化を知ることのできる資料、英中韓の外国語図書、多言語で書かれたチラシ類を配架。
- ・台東区の多言語情報誌で、多文化共生コーナーを周知。

(2) その他

- ・こどもとしょしつでは、外国語絵本を配架し、R6年度に多言語おはなし会を実施。
- ・こどもとしょしつの掲示物はひらがなを多くしたり、簡単な表現を使用。
- ・一般書架の館内掲示は、英語併記やピクトグラムを一部使用。
- ・図書館内の端末やインターネットから、やさしい日本語で資料を検索可能。

2 課題

(1) 多文化共生コーナー

- ・配架場所がやや奥まっており、利用が少ない。
- ・外国語図書の選定・受入は日本語の資料より時間を要することもあり、英中韓以外の資料選定まで手が回っていない状況。
- ・やさしい日本語資料のニーズ把握・選書が難しい。

(2) その他

- ・より多くの方が利用しやすいような図書館掲示を目指す必要がある。
- ・図書館利用案内は漢字が多く、外国人の方が利用しづらい。

3 先進自治体図書館を視察

(1) 資料について

- ・外国語図書の収集は、人口統計の多い順を参考としている。
- ・外国人コミュニティに、多言語資料の選書に協力してもらうことがある。
- ・日本語を学ぶ資料や最新の外国語小説の需要が高い。

(2) イベントについて

- ・多言語おはなし会等を、NPO等と協力して実施している。

(3) 周知について

- ・多文化共生の拠点等で、図書館イベントのチラシ等を配布している。
- ・声かけは周知効果が高く、来館時にカウンターでチラシを渡すこともある。

(4) その他

- ・図書館の利用案内等をやさしい日本語や多言語で作成。
- ・ルビを振ったり、やさしい日本語を使った館内掲示が見られる。

4 リニューアル後の取組み（案）

（１）資料について

- ・多文化共生コーナーの移設や面出し棚の新設により、多言語の資料等を目立つように配架するなど、魅力的な書架を目指す。
- ・人口統計を参考としつつ、多言語資料とやさしい日本語資料の選定に当たっては、外国人の方の意見も聞きつつ進めたい。

（２）イベントについて

- ・多言語のおはなし会を定期的を実施する。

（３）周知について

- ・多文化共生コーナー周知用のチラシ等を作成し、図書館等で配布する。

（４）その他

- ・外国人の方も利用しやすい館内掲示を導入。
- ・多言語とやさしい日本語で書かれた図書館利用案内、利用登録申込書を整備。